

科目名	キャリアデザイン3			ナンバリング	CAR151	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	金世煥	担当教員	山口憲二、田中美和				

授業の概要	卒業後の進路決定に向けた本格的な活動を始めるにあたり、社会人としてキャリアを踏み出すために必要な知識と考え方の深掘りと幅を広げることを目的とする。そのために、「自己理解」「社会理解」「仕事理解」を深めるワークと解説を行う。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の卒業後の進路やキャリアプランについて、その理由とともに説明ができる。 2. 自分の価値観や強みと弱みについて説明ができる。 3. 多様な働き方や職場、職種について理解し、それぞれのメリットデメリットについて説明できる。 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	新聞などに目を通し、一般常識や時事問題について把握しておく。 ビジネス関連図書に目を通し、社会人に求められる能力とその使い方について理解しておく。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の自分の進路についておおよそ説明できるが、理由がやや表面的である。 ・自分の考える進路に求められている能力を理解している。 ・多様な働き方や職種、自分の価値観を理解しているが、自分のキャリア観との結びつきがやや曖昧である。 ・コミュニケーションスキル(話す、聴く)が、グループワークをおこなううえで問題ないレベルとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の自分の進路について、先の見通しも含めて明確に説明できる。 ・自分の考える進路だけでなく、幅広く情報収集をおこなっている。 ・多様な働き方や職種について理解し、それぞれのメリットデメリットを踏まえたうえで、自らのキャリアプランを説明することができる。 ・グループワークでは積極的に発言し、新しい視点を提示したりメンバーの意見をまとめるなど、成果に導いている。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		40%
宿題・授業外レポート	○	○	○		○		30%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○	○		30%

課題、評価のフィードバック	授業内、またはmanab@IMU上にておこなう。
---------------	--------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	キャリアデザイン3の進め方について説明する。	
	第2回	就職活動の概要	就職活動の概要と進め方について学ぶ。	
	第3回	ビジネスマナー	ビジネスマナー(服装・身だしなみ、挨拶、言葉遣い)について学ぶ。	
	第4回	インターンシップ	インターンシップの概要と意義を理解する。【マイナビ】	
	第5回	履歴書の書き方	履歴書の基本的な書き方を理解する。	
	第6回	業界研究	業界とビジネスモデルについて学ぶ。	
	第7回	企業研究	企業研究のポイントを理解し、企業分析をおこなう。	
	第8回	適性検査	就職活動で主に使用されている適性検査を受検し、その結果を踏まえて対策を検討する。	
	第9回	自己理解①	自己の興味・価値観・能力の3要素を把握する。【マイナビ】	
	第10回	自己理解②	自己理解①の結果を元に自己PR・学チカの土台を作成する。【マイナビ】	
	第11回	自己理解③	適性検査と自己理解①の結果を元に、自己の傾向や価値観の把握をし、職業ランキングから適職を考える。【マイナビ】	
	第12回	グループワーク実践	コミュニケーションスキルの学びを踏まえ、実際にグループワークをおこなう。【マイナビ】	
	第13回	ワークルール①	働き方改革やブラック企業の実情について理解する。	
	第14回	ワークルール②	労働の基礎知識(処遇・労働時間・賃金・福利厚生)を学び、求人票に書かれている内容を理解する。	
	第15回	今後のアクションプラン	今後に向けたアクションプランを作成し、「学生時代に力を入れたこと」をまとめる。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		講義は個人、またはグループワークによって進め、適宜解説を行う。外部講師スケジュールによって、授業内容の日程に変更がある場合がある。		
授業外学習の指示		授業内容を整理し、まとめておく。自らの進路選択について情報収集する。 (授業外学習時間: 毎週 120 分)		

教科書	使用しない。授業時に適宜プリントや資料を配布する。
参考書	『会社四季報業界地図2019年版』東洋経済新報社,1,296円(税込),ISBN:9784492973271 その他授業内で適宜指示する。
参考URLなど	授業内で適宜指示する。
その他	資料、課題の提示、提出はmanab@IMUを通じて行う。